



受講申込書

N A M E			写真 裏面に氏名を 記入ください
氏 名		印	
生 年 月 日	昭和 (西暦 19) 年	月 日 (歳)	
現 住 所	〒 (TEL:)		
携 帯 番 号			
メ ー ル ア ド レ ス			
勤 務 先 名			
部 署 ・ 役 職			
勤 務 先 住 所	〒 (TEL:)		
※都道府県サッカー協会所属の方のみ			
(協会名)		(役職・担当)	
最 終 学 歴	年 月	卒業・中退	
カレッジ受講後の配属先			
スポーツ若しくはサッカーとの関わり (職歴・指導歴・競技歴等)			
年 月～	年 月	_____	
年 月～	年 月	_____	
年 月～	年 月	_____	
年 月～	年 月	_____	
年 月～	年 月	_____	
SMC サテライト講座	1. 未受講 2. 受講済み (県にて受講)		
【 協 会 記 入 欄 】			
上記 (氏名) _____ の受講申請を承認いたします。			
2014 年 月 日			
_____ サッカー協会 (会長名) _____ 印			

※ JFA からの各種書類の案内は、原則として、ご自宅に送付させていただきます。
 ※ 参加申込締切：2014 年 8 月 15 日 (金) 17:00 必着 (郵送のみ)



志望動機書

(氏名：)

Blank writing area with horizontal dashed lines for text entry.



プライバシーポリシー同意書

このたび日本サッカー協会（JFA）が開催する 2014 年度 SMC 本講座（Grade3）の受講（申込み）にあたって、JFA は以下の個人情報を取得し、下記の目的等に沿って利用致します。

【取得する個人情報】

- (1) 受講者氏名（予定者を含む；以下同）
- (2) 生年月日
- (3) 現住所及び電話・FAX 番号
- (4) 勤務先及び役職
- (5) 勤務先住所及び電話・FAX 番号
- (6) 携帯電話番号
- (7) e メールアドレス
- (8) 資料送付先住所
- (9) 最終学歴
- (10) カレッジ受講後配属先（予定）
- (11) 職歴、指導歴、競技歴等
- (12) 「2014 年度 SMC 本講座（Grade3）」受講志望動機書
- (13) スポーツクラブ事業計画書

【利用目的】

- (1) 「2014 年度 SMC 本講座（Grade3）」受講にあたっての諸連絡
- (2) 「2014 年度 SMC 本講座（Grade3）」受講者選定にあたっての検討資料

【プライバシーポリシー同意書】

JFA が上記の目的のために、私の個人情報を取得し、利用することに同意します。

同意年月日： 年 月 日

所 属： _____

署 名： （氏名） _____





スポーツクラブ事業計画書

(スポーツクラブ事業計画書 表紙 様式)

2014 年 月 日

公益財団法人 日本サッカー協会 御中

スポーツクラブ事業計画書

わたくし_____は、2014 年度 SMC 本講座 (Grade3)
の受講を希望するにあたり、ここにスポーツクラブ事業計画書を提出致します。
なお、受講者の最終的な決定に関しては、JFA に委ねることを約束致します。

氏 名：

※ 2014 年 8 月 15 日 (金) 17:00 必着 (郵送にて提出)

※ 作成の仕方は、次頁を参照のこと。



スポーツクラブ事業計画書の作成方法について

計画書作成にあたっては、前頁の様式の表紙を用い、以下の項目で作成して下さい。
(書式は自由/A4用紙で10頁以内)

- 1) イントロダクション (プラン作成の目的)
- 2) クラブ概要 (ビジョン・コンセプト・ターゲット・活動内容概要など)
- 3) ビジネスモデル
- 4) 活動内容 (クラブが提供するプログラム・サービスなどの概要)
- 5) 人・組織体制
- 6) 事業収支計画

事業計画書作成にあたっての前提条件

■ スポーツクラブの母体と計画期間等について

あなたが作成する事業計画書は、あなたが所属する組織を母体にするなど、あなたが中心となって、2015年4月以降に事業を開始するスポーツクラブの創設及び運営に関する事業計画書です。創設するスポーツクラブは、必ずしも独立した法人格を有する組織でなくとも良く、所属組織の一事業部として活動しても構いません。但し、スポーツクラブとしての独立会計を有することを条件とします。事業計画書の計画期間は、2015年度から最低5年間は計画していただきます。別途、計画内に長期的な将来構想も織り込んでよいものとします。

※ 現在、既にスポーツクラブを創設し、運営している方は、そのスポーツクラブに関する事業計画書で構いません。

■ 活動拠点となる施設について

計画する事業においては、スポーツクラブが活動する拠点施設をどのように確保するかも、計画内に折り込んで下さい。その際、施設は自前で整備しなくても良く、所定の施設を借りながらクラブ運営を行ったり、所定の施設の指定管理者となってクラブ運営を行うなど、自身で現実的なプランを策定して下さい。但し、施設の確保方法等を含め、自身がどのような前提(誰に何を訴えるための計画書なのか等)でプランを作成しているのかを、上記目次の中の「イントロダクション」に明記して下さい。